

# 福島教区報

教会数 115ヶ所  
 布教所数 105ヶ所  
 (R183.11月末現在)

天理教福島教務支庁

〒960-8022 福島市新浜町7番26号  
 TEL 024-534-2251 / FAX 024-534-2404



## 天理教基礎講座(福島会場)

### 相双支部で初開催

今年にはコロナウイルス感染流行により基礎講座(福島会場)の開催が見送られてきました。その中、11月1日、新潟教区の基礎講座でのコロナ対策を視察してきました。それを踏まえ、基礎講座の開催に向けて検討を重ね、①スタッフを最小限に限

定、②体調不良の方などは来場をご遠慮いただき、来場の方はマスク着用必須を事前お知らせ、③講師はじめスタッフ全員の体調管理及び手洗い消毒、マスク・フェイスシールド着用の徹底、④会場入口にて検温、各所に消毒液常備、⑤席の距離を

おき1時間おきのこまめな換気、⑥スタッフ兼看護師の派遣、などの対策を施しての開催となりました。

11月29日(日)、福相分教会を会場に、スタッフ6名(講師杉澤先生)、受講者23名を得て開催できました。受講者のうち、初受講の方が13名で、未信者の方4名にも足を運んでいただきました。

教会では初めての開催となりましたが、目黒淳相双支部長はじめ教会の方々の温かいおもいにたすけていただきながら無事に終える事ができました。受講者の皆さんも喜んで下さり、教会であります。交流場として今後も活用出来れば良いという感想も出ました。

コロナ対策は今後も練りながら、来年に繋げていきたいと思えます。(K・K)

# コロナ禍で各種行事の中止

## 本部月次祭参拝規制 続く

9月に一旦落ち着きが見られた新型コロナウイルスの新規感染者数は、10月末から再び増加し、11月半ばから12月にかけて2千人を超える日が続いた。大阪と札幌では政府の観光支援策「GO TO トラベル」事業が停止され、また感染拡大地では、飲食店の営業時間の短縮要請が行われるなど、社会的経済的活動に制限が加えられた。しかし、感染の拡大は収まらずに、年末には4千人を超えた。

そのような中、本部月次祭は7月から12月まで、直属教会長、教区長と共に、人数を制限して全国各地の教会長がようぼく信者を代表して参拝した。また、昇殿できない方も中庭や神殿前に間隔を置いて並べられパイプ椅子に座ったり、立ったまま参拝するなどした。また、修養科や

各講習会も、感染予防に留意しながら受け入れを続けた。また、7月から土日祝日の正午にとめられていた「定時のおつとめ」は、12月27日まで続けられた。

その一方で、10月の「青年会総会」が中止となり、1月の「お節会」や3月の「学生生徒修養会（大学の部及び高校卒業生コース）」の中止が発表された。

そのような状況の中、福島教区では毎月2日の教区月次祭と教区連絡会が感染予防に努めながら行われている。また、11月29日には「天理教基礎講座」が、新潟教区でのコロナ対策を参考に検討を重ねたうえで、相双支部で初めて開催された。

しかし、9月末の「全教一斉にいがけデー」や、婦人会の「教区母親講座・婦人の集い」が中止となった。

### ・読んで深める

「時報からの拾い読み」（道友社）、「試し読み&無料公開」（道友社）、あなたが陽気に、世界を陽気に。「JOYOUS LIFE」（道友社）、学生ウェブサイト「Happist」（学生担当委員会・学生会）

### ●天理教婦人会のホームページ

・エッセイ・ブログ (<https://tenrikyo-fujinkai.org/category/essay/>)

かめちゃんのひとり言、ワイワイたすけ合い、子育てホッとひとこと、それぞれの風景

### ●YouTube「陽気チャンネル」（養徳社）

お話を聞く機会が減っている昨今、「信仰の糧」「こころの栄養」をお届けする「お道のお話し会」。教区長先生も登場しています。



# 道友社

## 「東北ブロック社友研修会」に5名参加

道友社東北ブロック社友研修会が11月29、30日、盛岡市つなぎ温泉で、コロナウィルス感染予防に留意して開催されました。

講師は西浦忠一本部長(内統領室長・前道友社社長)でした。先生は2週間ほど前にご母堂が出直されて



喪に服されておられる中の事でした。ご家族が海外等遠方におられ、帰国もままならずWEBでの別れをされたそうです。母も姿を見れて話も出来喜んでいたとの事です。

このように中々対面で会えない中、デジタルの活用は大事で、特に若者への発信は有効です。どんどんオンラインで繋がる布教も必要ですが、お道における教えの伝達は胸から胸へがもつと大事です。

道友社のコロナ禍の近況は、『時報』が緩やかな減少、『生き生き新聞』が15%、書物に至っては60%減です。その中で中島みゆきの第二詩集は増版出来と好調です。

帯の赤はみゆきさんの希望でおやさま赤衣の色と指定され、西浦家に伝わる赤衣から採色された物、また、後書は自ら天理時報に掲載したことを伝えておられます。是非においがけにご活用くださいとの事でした。

(H・S)

### WEBコンテンツを利用しよう!

●天理教のホームページ “暮らしの場” で教えに親しもう  
(<http://www.tenrikyo.or.jp/yoboku/kurashinobade/>)



#### ・聴いて味わう

動画「天理の教えチャンネル」(布教部)、動画「千遍」(青年会)、ラジオ「天理教の時間」(道友社)、朗読動画「朝の信仰読本」(道友社)、朗読動画「神様からの宿題」(道友社)

#### ・視て感じる

動画「みんなの少年会」(少年会)、動画「ようぼくぴーす」(道友社)、写真ギャラリー「おやさと百景」(道友社)、動画「おやさと百景」(道友社)、天理参考館WEB展示室「スポーツの歴史と文化」(天理参考館・道友社)

**天理教災害救援ひのきしん隊  
結成50周年記念大会**

願いは無災害

立教184年  
6月27日(日)

内容 午前8時30分 おつとめ(東礼拝場)  
午前10時 記念式典(天理大学袖之内第1体育館)

対象 全隊員 服装 隊服、ヘルメット 参加御供 一人500円

大会までの活動方針 「実動を見据えた隊の充実」

- 1 立教110年度全教区隊に対する訓練の実施と充実
- 2 隊員の自覚と増員
- 3 ブロック内の連携強化

**天理教災害救援ひのきしん隊  
結成50周年記念大会**

「感謝と決意を胸におぢばに集結」

結成50周年にあたり、全隊員がおぢばに集い、いざという時の自覚を高めつつ、災害の無い世界をご守護いただけるよう、ひのきしんの態度を養い、地域のひのきしん活動の中核となって励むことを誓う場とさせていただきます。

- 立教184年6月27日(日)  
8時30分 おつとめ(東礼拝場)  
10時 記念式典  
(天理大学袖之内第1体育館)
- 服装 隊服、ヘルメット
- 参加御供 1人500円

「大学生卒業の集い Joyous Style」

期間 ①3月1日～3日  
②3月5日～7日  
③3月9日～12日

受講対象

- ①令和2年度大学・大学院・短期大学・専門学校卒業予定
- ②全期間(2泊3日)を通して受講できる者

※複数回の受講はできません

募集人数 各回40名 計120名

内容 講話、グループワーク、お楽しみ行事など

受講御供 5,000円

申込締切 1月31日

立教184年 学生おぢばがえり  
一次代を担うようぼくへー

- 道の学生おぢばがえり推進期間  
2月1日～3月25日

・感染対策を十分に行った上、個人や少人数でのおぢばがえりをしましょう。  
・1年間のお礼を申し上げ、おぢばがえりできる喜びを味わいましょう。

- 道の学生 オンラインの集い  
3月28日(日)10時30分～

・動画配信で春祭り・式典を行います。  
・詳細は学生担当委員会へお尋ねください。

※福島教区では、3月25日、おぢばがえりを予定しています。

**福島教区ホームページ 「天理教福島教区」で検索!**  
[Http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp](http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp)